

### (3) 算 数

領域・小問ごとの分析	対 策 の 視 点
<p>① 数と計算</p> <p>1、整数・小数・分数の計算</p> <p>(1) 3位数×3位数の計算 正答率は77%で、よく理解されているが、誤答の中では空位の計算処理の誤りが目立つ。</p> <p>(2) 2位数×3位数の計算 正答率は77%である。乗数のけた数が被乗数のけた数より大きいことによる筆算のつまずきが見られる。</p> <p>(3) 3位数÷2位数の計算 正答率は87%で、よく理解されている。</p> <p>(4) 小数÷整数 正答率は78%と高いが、誤答を見ると商の小数点の打ち忘れのような単純な誤りが見られる。</p> <p>(5) 分数の計算(加法) 正答率は82%で、よく理解されている。誤答の中では、<math>1\frac{6}{5}</math>と答えた児童が目立つ。</p> <p>(6) 分数の計算(減法) 正答率は70%である。 誤答は多様で、<math>2\frac{2}{7}</math>、<math>3\frac{8}{7}</math>、<math>2\frac{3}{7}</math>、<math>3\frac{5}{7}</math>、<math>2\frac{6}{7}</math>などである。</p> <p>(7) 整数－小数の計算 正答率は66%で、分数の計算より低い。これは、小数以下の繰り下がりの意味がよく理解されていないためと思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 乗法の筆算指導では、機械的な計算は避け十進位取り記数法の原理により丁寧に指導することが望ましい。 空位の計算処理、積の大きさを見当つけて計算すること、検算をすることなどに留意し指導したい。</li> <li>◦ 割り算で商の小数点の見落としを防ぐには、商の見当をつけて計算する指導が大切である。</li> <li>◦ 答えの書き表し方をドリルを通して定着させるようにしたい。</li> <li>◦ 帯分数＝整数＋分数の意味を理解させ、<math>4\frac{2}{7} = 3\frac{9}{7} = 2\frac{16}{7}</math>のように、自由な式表現が出来る指導が大切である。</li> <li>◦ 小数の筆算は、整数の筆算と同じように、十進位取り記数法の原理により、成り立つことを丁寧に指導するようにしたい。</li> </ul>
<p>2. 億・兆の単位</p> <p>正答率は39%と低く、誤答は、10倍、20倍1000倍などである。 命数法が理解できていないこと、日常あま</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 一億や十億などの大きな数を単位として目盛った数直線を用いて、数直線の上の位置で理解させるなど、色々な工夫がほしい。</li> </ul>